

赤木沢く薬師岳

菊T

参加メンバー

L H高、塩D、H谷川、H坂、佐々K J、菊T、Y

日程

7月10日～12日

この夏初めてのアルプス山行は赤木沢でした。7月10日金曜夜川越発。今回は大宮から6人、ゲスト1人の総勢7名での山行です。行きも帰りも車1台運転交代で、長旅も順調に進行できました。集合が遅かったので仮眠を少ししか取れず、立山道の駅で仮眠後、各自朝食を取り折立の駐車場まで移動しました。

天。駐車場で身支度を整え出発です。アプローチが長いので沢装備は途中で整えるとの事。途中で着替えをするとは思わず私は最初から沢装備。皆さんの指摘で涼しめに再調整です。(笑)

さて、北アルプスらしい素晴らしい景色を堪能しつつ、登ります。結構暑いです。梅雨の晴間というのに真夏のようにジリジリと日差しが降り注ぎます。そんな暑さの中、ちよっぴり残った雪渓を歩きアルプス気分満載です。11時半、太郎平小屋に到着です。各自昼食をすませ小休止、夏休み前のこの時期、思ったより人が少ないです。さて、薬師沢小屋へ向け出発！沢がだんだん近づいてきました。小屋手前、いよいよ沢装備に着替えます。この時間から入渓するとすると小屋で怒られそ

うだから(笑)。本日の予定はウマ沢に入ったあたりでバーク。アルプスの沢も初めてならビバークも初めて。ちよつとドキドキです。さて、これから男子チーム、女子チームに分かれて入渓です。一歩踏み込むと水が冷たく感じます。今年2回経験した沢とは規模が違います。水量と水の音にビビリながらも女子L佐々K Jさんに着いて行きます。水の中を探り探り進みます。雄大な景色と水の透明さに感動です。20分ほど進んだところで、先行していた男子チームが勢揃い。前日の寝不足からか、塩Dさんの調子が上がらずバランス感覚に不安があるとの事。全体会議の結果、薬師沢小屋へ引き返し、翌日の状況で遡行するか薬師岳への登山に切り替えるか決定しようという事になりました

た。薬師沢小屋へ到着。15時半くらいかな？全員素泊まりでチェックイン。そのまま受付前のテラスで片付けつつの宴会開始。本日の泊り客は、私たち以外は1人らしい。バークから快適な状況に一変のんびり、まったりです。塩Dさんも頭痛、吐き気なども無いようで一安心。H高Lがギャグで持ってきた？蒸籠やらほかほかの焼売が振舞われ、他にも海藻サラダやひじきの煮物などおつまみ続々登場です。みんなでワイワイ楽しいひと時でした。

男子チームは沢の音を聞きつつの宴会続行。佐々K J女子Lはいち早く就寝。私とH谷川さんは自炊室でお茶タイム。今日は汗をかなりかいたのでたっぷり水分補給です。部屋に入るとお布団がフカフ

カ。山小屋らしからぬフカフカ加減。こんな贅沢して良いのかと思いつつ、次回来るときは、小屋に前泊して荷物を軽く、体力も温存で一気に抜ける方が自分には良いのかと考えました。

翌日も快晴。3時起床と言っていたので、目覚ましをセットしていたら誰も起きる気配なし。30分後に再セット。さすがに3時半にはみんな起きだしました。食堂で各自朝食を食べて本日の予定の相談。結局大事を取って、薬師岳への登頂へと切り替えました。

今年の赤木沢は、私達が一一般では初入渓で、前週ガイドが入ったものの水量の多さで撤退したと聞きました。上部雪渓の状況を考えるとこの人数、全員が体調万全で本日に抜けるかも不安だし、薬師岳への転進は最良の選択

だとみんな納得でした。薬師沢小屋の前で記念写真をパチリ。5時15分出発です。かわいらしい高山植物を鑑賞しつつ、薬師岳へ向かいま

す。8時、太郎平小屋へ戻ってきました。ここで、数名が荷物をデポし出発。思ったより雪渓が多く、天気の良さで眩しく雪も溶けかかって歩きにくいです。薬師岳山荘で山頂乾杯用アルコールを購入し、いよいよ山頂へ！私はペットボトル600円に購入断念。水で乾杯だ！

10時半、薬師岳登頂！絶景です。こんな晴天の山頂久しぶり。みんなで乾杯。2926mに別れを告げ、再び太郎平小屋へ。H高しおもてなし第2弾。素麺を頂きました。薬味の茗荷が良い仕事してたよ。私はお腹ペコペコでラー



メンも小屋で食べちゃいました。腹ごしらえも済んで、後は沢も山も素晴らしい！本当はひたすら下山。良く歩いたに良い山行でした。2日間でした。北アルプス